



社長に聞く！！タスクチームって何？

チームGSとIT3は、日々の作業をより楽にし、業務にさらなる価値を生み出してくれる、非常に心強い存在です。

ところで、システムや設備、作業方法といった「仕組み」が、現場の作業内容を十分に考慮されずに導入されたことで、かえって困った経験はありませんか？導入後に業務がより煩雑になったり、期待していた効果が得られなかったりするケースは、決して少なくありません。

だからこそ、仕組みづくりには、「その作業を一番よく知っている人」が関わることが何より重要です。では、その「一番よく知っている人」とは誰でしょうか？もちろん、それは、日々現場で作業を担っている担当者です。作業担当者自身が仕組みをつくることができれば、現場にとって本当に意味のある、最適な仕組みを実現することができます。この考え方に基づき、トーコンでは、チームGSとIT3が現場で本当に必要とされる仕組みを、現場の実情によりそって作成しています。また、現場の担当者自身が最適な仕組みをつくれるよう、作成支援や教育にも力を入れています。

___メンバー紹介___

▲ 江川和典 チームGS

モノ作りなどの経験は多くありませんが、各事業所の問題、課題に対し分析思考の観点から解決策を見出せたらと考えています。各事業所で試行錯誤を繰り返し、勉強させて頂いた成果が皆さんに繋がるよう精進していくつもりです。

▲ 石渡 悠介 チームGS

趣味のバイク(原付)レストアやPCゲームが興じてGSで活動することになりました。イレクターパイプを用いた製品の作成やVBAによる改善など多方面から業務改善を行っております。業務応援を通じた改善も積極的に行っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します！

▲ 大塚翔馬 IT3

自分が受け持っていた手間がかかる事務作業をどうにかして楽にできないかなと試行錯誤した結果、VBAの存在を知り、勉強を始めました。まだまだできないことも多いですが、改善を通じてレベルアップしていけたらなと思います。

▲ 玉造恵美子 IT3

大塚先生にVBAを習って早5年、いや7年…？所属の割にそれほどデジタルな生活はしてませんが、身の丈に合ったゆる～いITを目指します。



こんなことやってきました ～改善事例紹介～



GSの事例

【取り組んだ課題】

工程Aの担当が計3名で運用しているところを2名で運用できるように業務を見直したい

【行ったアプローチ】

① 工程Aの作業エリアにおけるモノの動きを分析し、モノの流れに基づいたレイアウト変更を提案・実施

② 対象作業員や周囲の作業員等にヒアリングを行い業務再配分の提案

【改善結果】

対象工程は目標とした2名運用を実現。このほか協力会社の付帯作業も微減し大きな改善となった。

ITTTの事例

（習志野事業所）配送日報作成について

・改善前の問題点

- 1) Excelで作った日報フォームに入力しているが、データを入れるセルが飛び飛びでいちいちセルを選択する必要がある。
- 2) 伝票番号や現場名の入力の手間。ミスも。
- 3) 配送時間の指定などの入力漏れが起きる。

・改善への手がかかり

- 1) 入力すべき情報の一部は作業指示CSVとしてデータ化されている。これを活かさないか？
- 2) とにかく入力を楽にしたい。セル選択の手間を無くしたい。

・改善手法と その結果

（紙面の都合上、続きはWEBで公開しています。QRコードからご確認ください）
Googleドライブです

